

ほっぽう もんよう  
北方の文様

スタンドグラス風 <sup>ふう</sup> 木箱作り <sup>きばこづく</sup>

2019年8月3日

きた くの ほうで暮らしている <sup>ひと</sup> 人たちは <sup>いふく</sup> 衣服や <sup>どうぐ</sup> 道具などを、いろいろな <sup>うつく</sup> 美しい <sup>もんよう</sup> 文様で <sup>かざ</sup> 飾ります。

ほくせい <sup>かいがん</sup> 北西海岸インディアンの <sup>ひと</sup> 人たちは、<sup>かヌー</sup> カヌーや <sup>パドル</sup> パドル、<sup>はこ</sup> 箱、<sup>たいこ</sup> 太鼓などを <sup>もんよう</sup> 文様で <sup>かざ</sup> 飾っています。





『オウボイド』という  <sup>かたち</sup> 形や  のような『U字型』<sup>じかた</sup> でデザインされています。

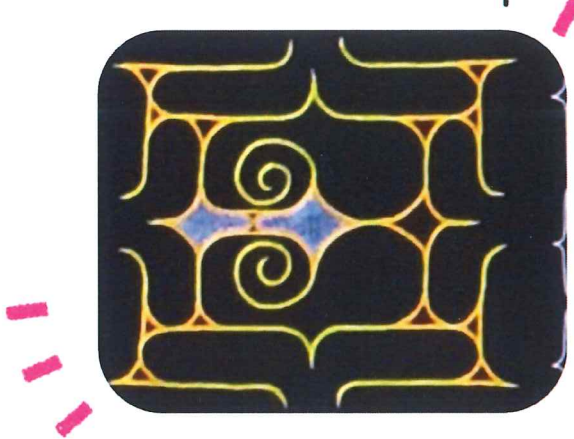


耳を見てね

<sup>てんじしつ</sup> 展示室のトーテムポールは <sup>くま</sup> [くま] の <sup>みみ</sup> 耳が <sup>U</sup> U の <sup>かたち</sup> 形でデザインされています。

アイヌ民族の <sup>もんよう</sup> 文様にはこのようなデザインが <sup>かく</sup> 隠れています。

アイウシ  モレウ   
ウタサ  シク  などです。



どんな <sup>もんよう</sup> 文様が <sup>つか</sup> 使われて <sup>さが</sup> いるか探してみてね!

# 【ざいりょう】

【2 ページ】

○フタ付ききばこ 1個 ○ガラスえのぐ黒1本

○ガラスえのぐカラ-4色 (各テーブルに一つずつ)

○竹串 ○デザインの紙

○木箱のふたに固定する白い板

○ステンシル用アクリルえのぐ・ふで

○ステンシル用の型

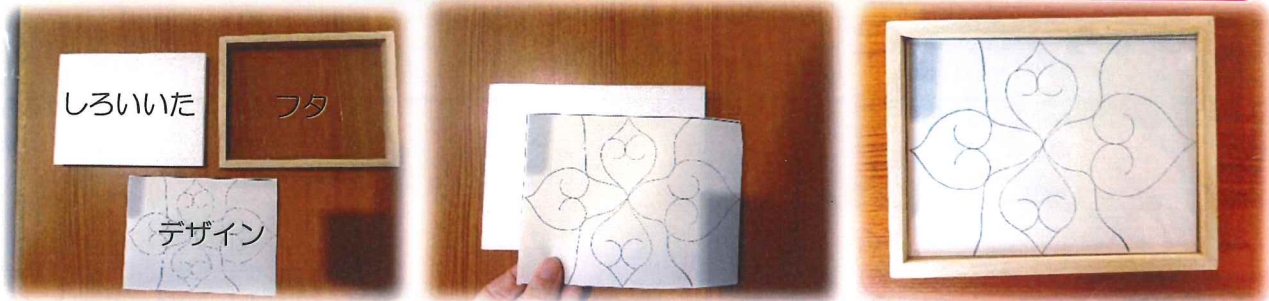
○飾りつけ用の白樺樹皮 ○ボンド



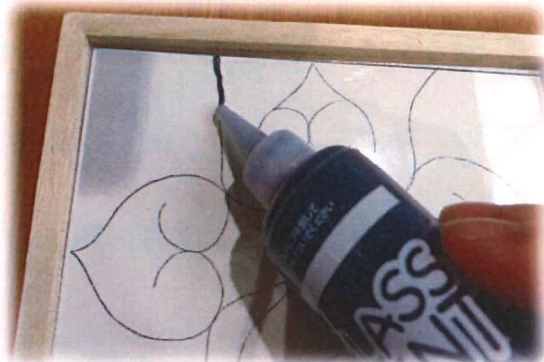
# 【つくりかた】

① 白い板・デザインの紙・木箱のフタの順番に重ねます。

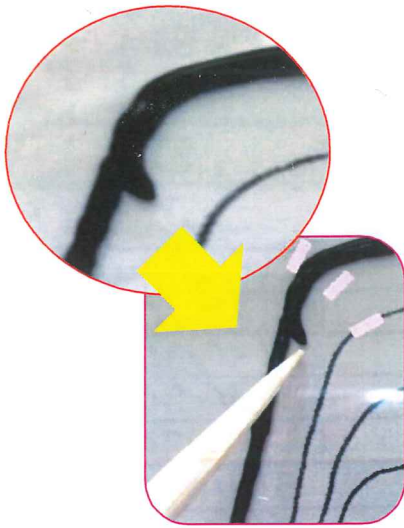
フタの透明なところはうすいので、手などで押して割らないようにしてね！



② 黒のガラスえのぐのボトルを、やさしく押しながらえのぐを出してデザインの線をなぞります。



# ■ ■ ■ ガラス<sup>えのぐ</sup>絵具<sup>つか</sup>を使うときのポイント ■ ■ ■



<sup>だ</sup>出しすぎてしまったり、ずれてしまったりした時は<sup>とき</sup>少し<sup>すこ</sup>乾<sup>かわ</sup>かして竹串<sup>たけぐし</sup>でツンツンとよせるとやりなおせます。

ガラス<sup>ようき</sup>えのぐ<sup>さき</sup>の容器<sup>さき</sup>の先からえのぐが少し<sup>すこ</sup>出<sup>だ</sup>ていたり<sup>はみ</sup>みで<sup>て</sup>いたらキレイにふき<sup>と</sup>取<sup>と</sup>ってから<sup>はじ</sup>始めると<sup>しあ</sup>きれいに仕<sup>あ</sup>上がり<sup>ま</sup>ります。



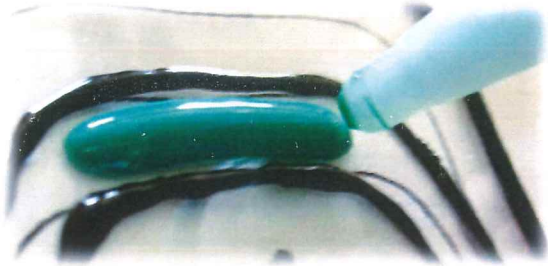
<sup>ようき</sup>容器<sup>さき</sup>の先<sup>せん</sup>を<sup>うえ</sup>すべ<sup>ら</sup>せるようにして、<sup>せん</sup>線<sup>うえ</sup>の上<sup>を</sup>を<sup>な</sup>ぞ<sup>り</sup>ま<sup>し</sup>ょう。

③ <sup>くろ</sup>黒<sup>い</sup>い<sup>くろ</sup>ガラス<sup>えのぐ</sup>えのぐ<sup>で</sup>で<sup>ふ</sup>ち<sup>ど</sup>り<sup>が</sup>が<sup>お</sup>終<sup>わ</sup>つ<sup>た</sup>ら<sup>ら</sup>カラー<sup>えのぐ</sup>えのぐ<sup>で</sup>で<sup>う</sup>め<sup>て</sup>い<sup>き</sup>ま<sup>す</sup>。

<sup>くろ</sup>黒<sup>い</sup>い<sup>くろ</sup>ガラス<sup>えのぐ</sup>えのぐ<sup>は</sup>は 10<sup>ぶん</sup>分<sup>～</sup>20<sup>ぶん</sup>分<sup>くら</sup>い<sup>で</sup>で<sup>か</sup>た<sup>ま</sup>る<sup>の</sup>の<sup>で</sup>で、<sup>か</sup>カラー<sup>えのぐ</sup>えのぐ<sup>を</sup>を<sup>い</sup>れ<sup>る</sup>の<sup>の</sup>は<sup>さい</sup>さい<sup>しょ</sup>初<sup>め</sup>の<sup>ほう</sup>方<sup>か</sup>に<sup>くろ</sup>書<sup>い</sup>た<sup>くろ</sup>黒<sup>い</sup>い<sup>せん</sup>線<sup>の</sup>の<sup>ところ</sup>所<sup>か</sup>ら<sup>は</sup>じ<sup>め</sup>ま<sup>し</sup>ょう!

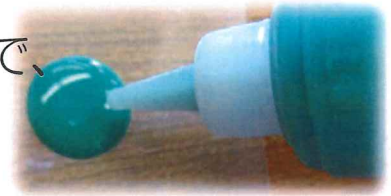
くろ せん  
黒い線のあいだにカラーのえのぐをだします。

【4 ページ】



だ  
出しすぎるとはみ出してしまうので  
き  
気をつけてね！

カラーえのぐは黒にくらべてやわらかいので、  
だ  
出しすぎないように気をつけましょう。



えのぐ ようき さき たけくし すこ  
容器の先や竹串で、少しずつのばして、すきまをうめま  
しょう。



かわくまで時間がかかります。



さわ  
触ったりしないように気を付  
けてください。



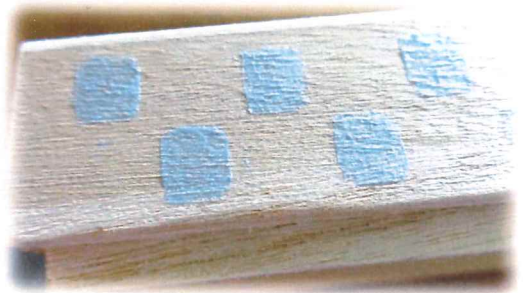
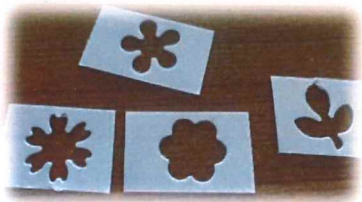
き ぶぶん  
フタの木の<sup>き</sup>上部分にも  
ガラスえのぐをぬってみましょう。



④ <sup>きばこ</sup> <sup>した</sup> <sup>ぶぶん</sup> 木箱の下の部分のかざりつけをしましょう。

【5 ページ】

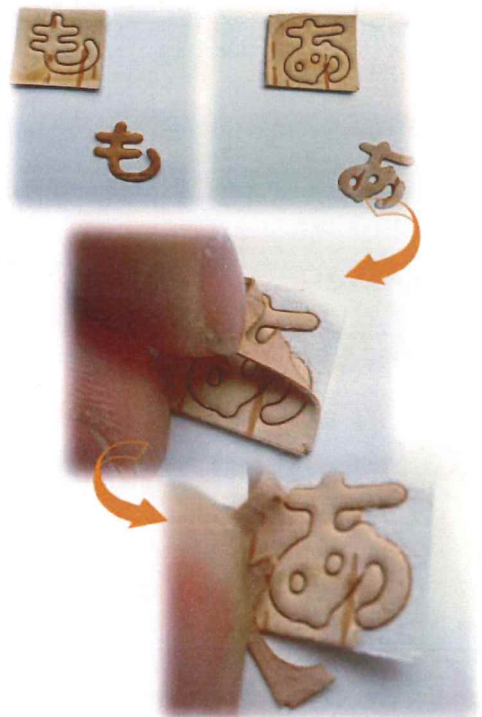
いろいろな <sup>かたち</sup> <sup>かた</sup> <sup>ふで</sup> 形の型を筆にえのぐをつけて  
トントンとすると <sup>もよう</sup> 模様がつきます。



シラカバの木の皮でできた  
いろいろな <sup>かたち</sup> 形のかざりを  
ボンドではってかざりつけをしたら <sup>かんせい</sup> 完成！！



シラカバでできたじぶんの  
なまえもボンドではって  
かざってみましょう。



きれめにそってもじのまわりのシラカバをはがしましょう。

かんせい



